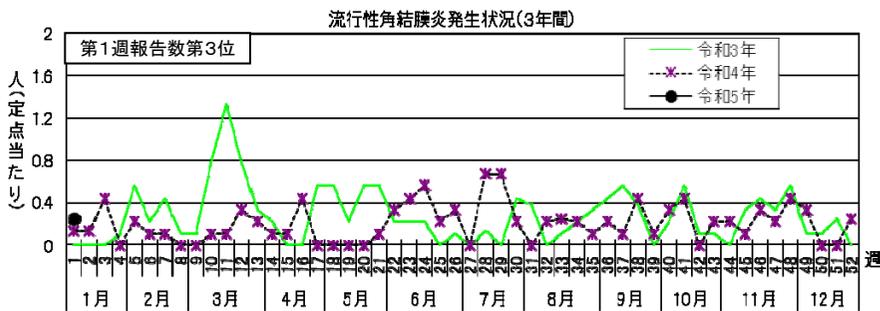
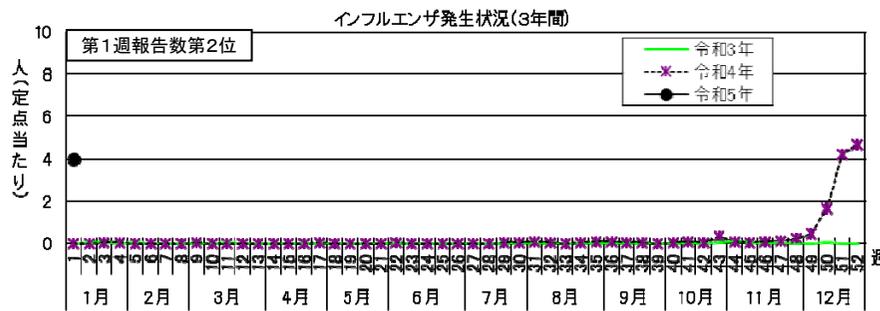
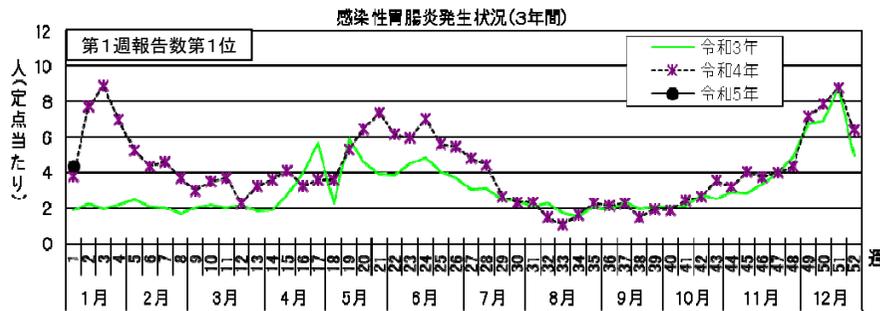


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和5年1月2日（月）～令和5年1月8日（日）〔令和5年第1週〕の感染症発生状況

第1週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) 流行性角結膜炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.32人と前週（6.42人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は3.95人と前週（4.65人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.25人と前週（0.25人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



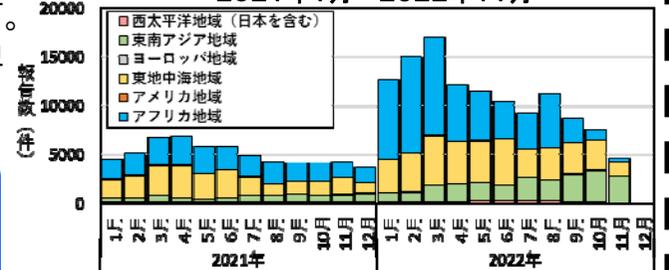
知っていますか？～麻しん（はしか）～

麻しんは、麻しんウイルスにより引き起こされる急性感染症で、高熱や発しん、気道症状等を伴います。感染力が非常に強く、免疫を持っていない方が感染するとほぼ100%発症し、肺炎や脳炎等を合併することもあります。

我が国では、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う渡航制限等により、麻しんの報告数が大幅に減少しました。しかし、2022年以降、世界的に報告数が増加していることから、今後は国内に持ち込まれる可能性もあります。

麻しんは空気感染をするため、ワクチン接種が最も有効な予防法です。定期予防接種の対象の方は、是非早めに接種をしておきましょう。

世界における地域別麻しんの報告数
 -2021年1月～2022年11月-



世界保健機関（WHO）ホームページデータから作成

麻しんとは？

【感染経路】

飛沫感染、接触感染、空気感染

【潜伏期間】

7～18日間（最長21日間程度）

【主な症状】

発熱、咳、鼻汁、発しん、結膜充血など

【予防対策】

麻しん含有ワクチン（MRワクチン）の接種
 ※麻しんの患者に接触した場合、72時間以内にワクチン接種をすることで、発症を予防できる可能性があります。

